

得ルノ權利アルモノトス況ンヤ監獄則第五條第四項ニ府縣會議員ハ臨時其府縣監獄ヲ巡閱スルコトヲ得トアレハ地方税ニ關係アル監獄事業ノ實況ヲ巡閱スルヲ得ルヤ明カナリ由是觀之高知縣令カ高知縣會議員ノ監獄ヲ巡閱スルノ請求ヲ拒絕シ爲メニ各議員ノ考案トナスヘキ緊要ナル材料ヲ得セシメカリシハ即チ議員ノ權利ヲ妨害セルヤ明カナリ然リ而シテ縣會ナルモノハ一個ノ結合體ニシテ其分子即チ議員ヲ以テ組織シタルモノナレハ議員ノ權利ハ即チ議會ノ權利ニ係リ議會ノ權利ハ即チ議員ノ權利ニ關ス然ラハ則チ前件ノ如キ議員ノ權利ヲ妨害シタル場合ニ於テハ議會ノ權利ヲ妨害シタルモノト斷定セサルヲ得ス果シテ然ラハ高知縣令カ議員ノ請求ヲ拒絕シタルハ縣會ノ權利ヲ妨害シタルモノト確認ス

縣令ノ答辨

第一條

高知縣會カ明治十八年度收入豫算ノ議事ニ際シ雜收入ノ項ヲ當然議定スヘキ議權アリトスル要點ハ府縣會規則第一條ニ府縣會ハ地方税ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算及其徵收方法ヲ議定ストアリ其徵收方法ヲ議定ストア支出總額ニ相當スヘキ金額ヲ議定スルノ謂ニシテ彼ノ雜收入ハ地方税ニ代用スヘキモノナレハ所謂徵收金額ノ一分子ナリ果シテ然ラハ規則第一條ノ範圍ニ於テ當然議定スヘキハ論ヲ待タサルニ付縣令ノ之ヲ議定セシメサルハ議權ヲ妨害セシモノナリト謂フニ在リ夫レ雜收入ハ地方税ヲ以テ支辨スヘキ事業及地方經濟ニ屬スル不用財產處分上ヨリ生スヘキ一種ノ金額ニシテ其増減ハ理事者ノ執行スヘキ事業ノ伸縮興廢等ニ依ルヘキモノニ付縣會ニ於テ決シテ議定スヘキモノニアラス若シ縣會ニ於テ之ヲ議定スヘキモノトセ

ハ縣令ノ職權ヲ以テ執行スヘキ事業ノ伸縮興廢ヲ議定スルニ至リ縣會ノ分限ヲ超過セルモノト謂フヘシ且雜收入ハ縣會ノ決議シタル支出金額ノ運動ヨリ生シ來ルモノナレハ事實議シ得ラルヘキモノニアラサルナリ原來雜收入ハ單ニ地方稅ト稱呼スヘキモノニアラス抑府縣會規則第一條ハ地方稅ノ支出豫算并ニ地方稅ノ徵收方法ノ議權ヲ指定シタルモノニシテ其地方稅トハ地方稅規則第一條ヲ外ニシ他ニ地方稅ト稱呼スヘキモノニアラサルナリ故ニ縣會ハ法律ニ於テ雜收入ヲ議定スヘキ議權ナキモノト確信ス

第二條

高知縣會ハ明治十八年度監獄費支出豫算ノ議事ニ際シ未決者中拘留狀并ニ收監狀ヲ以テ入監セシモノ、區別及入監ノ年月日等ノ説明ヲ請求セリ縣令代理人ハ經費ニ關係ナキニ依リ之ヲ辨明スルノ必要ナ

シトシ答辨ヲ與ヘサリシニ付縣會ハ監獄則第五條末項ニ府縣會議員ハ臨時其府縣監獄ヲ巡閱スルコトヲ得トアルニ依リ其巡閱ヲ求メシモ典獄ハ縣令ノ命令ナリトシ之カ巡閱ヲ拒絕セリ元來府縣會議員ハ合同體ナル議會ノ一分子ナリ而シテ其一分子ナル議員ノ權限ヲ妨害セシハ恰モ議會全體ノ權限ヲ妨害セシト同一一般ナリト謂フテ以テ權限ヲ爭フ本旨トセリ依テ案スルニ未決者ノ拘留狀ヲ以テ入監セラル、モ亦收監狀ヲ以テ拘禁セラル、モ均シク未決者ニシテ其令狀ノ種類ニ依リ經費ノ豫算ニ關係ヲ及ホスヘキモノニアラサルヲ以テ之カ辦明ヲ與フヘキモノニアラサルヤ判明ナリトス縣會ハ縣令ニ於テ監獄ノ巡閱ヲ拒絕シタリト謂フモ何ソ縣令ニ於テ巡閱ヲ拒ムノ道理アラシヤ當初議員ノ請求スル所ハ囚籍ヲ披見セントスルニ在リ凡ソ官廳ニ屬スル帳簿ハ假令府縣會議員タリト雖モ披見セシムヘキモノニ

アラサルヲ以テ巡閱ハ許容シタルモ其帳簿披見ノ點ニ就キ之ヲ拒絕シタルニ外ナラサルナリ監獄則第五條末項ノ成文ニ依レハ府縣會議員ハ監獄ヲ巡閱スルヲ得ルニ止マリ帳簿ヲ披見スルコトヲ得ヘキモノニアラスト確信ス加之監獄則ハ太政官ヨリ府縣ニ達セラレタル條規ニシテ法律ト稱呼スヘキモノニアラスト且府縣會議規則第九條末項ハ法律ノ見解ヲ異ニシ又ハ法律ニ就キ其權限ヲ爭フヘキ場合ヲ指定シタルモノニテ監獄則ノ如キ府縣ニ達セラレタルモノヲ含有シタルモノニアラスト又監獄則第五條末項ハ議員一己ノ資格ヲ以テ監獄ヲ巡視スルヲ得ルニ止マリ帳簿ヲ披見スルコトヲ得サルモノナルヘシ且右ノ末項ニ府縣會議員トアリテ府縣會トナキヲ以テ見レハ無形人ナル縣會全體ヨリ巡閱スルヲ得ヘカラサルヤ判明ナリ果シテ然ラハ假令監獄則ヲ法律ナリトスルモ縣會全局ヨリ權限ヲ爭フヲ得ヘキモノニ

アラス依テ本件ハ御院ノ裁定ヲ仰ジヘキモノニアラスト信認ス

審明

第一條

本件縣令ト縣會ト法律ノ見解ヲ異ニシ權限ヲ爭フノ要點ハ雜收入ナルモノハ府縣會議規則第一條府縣會ハ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算及其徵收方法ヲ議定ストアルニ照シ縣會ノ議定ニ附スヘキモノナルヤ否ヤニ在リ依テ之ヲ審案スルニ雜收入ハ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業ノ執行上ヨリ生スル者ナレハ其事業ノ伸縮與廢ハ縣令ノ職權ヲ以テ取扱フヘキ事ニシテ縣會ハ之ヲ議定スルノ權ナキ者トス依テ縣令カ雜收入ノ項ヲ縣會ノ議定ニ附セサリシハ當然ノ處置ナリトス

第二條

本件縣令ト縣會ト權限ヲ爭フト謂フノ要點ハ縣會カ監獄費ノ豫算ヲ

五百  
議スルニ當リ在監人中拘留人及收監人ノ區別并ニ其實況ヲ知ラント  
欲スルヨリ監獄ノ巡閱ヲ請求セシニ縣令ハ之ヲ拒絕シタリ而シテ監  
獄則第五條第四項ニハ府縣會議員ハ臨時其府縣監獄ヲ巡閱スルコト  
ヲ得トアルヲ以テ縣令カ之ヲ拒絕シタルハ縣會ノ權限ヲ妨害シタル  
モノナリト謂フニ在リ然レトモ監獄巡閱ノ事ハ本ト是レ政府カ府縣  
ヘ達シタル行政上ノ處分ニ出タルモノニシテ縣會議員カ巡閱ヲ請求  
セシニ當リ縣令カ之ヲ拒絕シタリトスルモ縣會ハ府縣會規則第九條  
ニ依リ縣令ト權限ヲ爭フコトヲ得ヘキモノニアラス況ンヤ縣令ノ答  
辨ニ依レハ監獄ノ巡閱ハ許容シタルモ帳簿ノ披見ヲ許サ、リシト謂  
フニ於テナヤ參事院ハ府縣會規則第九條ニ依リ府知事縣令ト府縣會  
トノ間ニ於テ法律ノ見解ヲ異ニシ又ハ權限ヲ爭フモノヲ裁定スル所  
ナリ本件ノ如キハ行政上ノ處分ニ係ルモノナルヲ以テ參事院ノ裁定

ヲ請フヘキモノニアラス

判決

右ノ理由ニ依リ第一條縣令カ雜收入ノ項ヲ縣會ノ議定ニ附セカリシ  
ハ法律ノ見解ヲ誤リ縣會ノ權限ヲ犯シタルモノニアラス第二條本院  
ニ於テ裁定スルノ限ニアラス

明治十八年五月廿四日

審理委員長

參事院副議長 山尾庸三

審理委員

參事院議官 島 惟精

審理委員

參事院議官 中村弘毅

審理委員

參事院議官補 落合濟三

審理委員

參事院議官補 岸本辰雄

審理委員

參事院議官補 廣橋賢光

審理委員

參事院議官補 蒲生 仙

大分縣令 西村亮吉

一七八 裁定書

右縣令ト縣會トノ間ニ於テ地方税精算報告書ノ件ニ付權限ヲ爭ヒ府  
縣會規則第九條ニ依リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

縣會ノ具狀

大分縣會副議長 宇佐美春三郎

明治十八年通常縣會ニ於テ明治十六年度地方税支出精算報告書ヲ受  
ケ之ヲ調査スルニ雜出ノ項ニ金壹圓壹錢四厘前年度監獄費追拂トア  
ルヲ以テ之ヲ縣令代理人ニ質スニ十五年度監獄費中刑具費ノ支出ニ  
誤謬アリシヲ十六年度ニ至リ發見セシモ精算決了ノ後ナルヲ以テ即  
チ十六年度中豫算外ニ生シタル事件ノ費途ニ付之ヲ豫備費ヨリ支出  
セシモノナリト答辨セリ依テ之ヲ地方税規則ニ照スニ其第四條ニ曰  
ク其年七月ヨリ翌年六月迄ヲ一週年度トナシ府知事縣令ハ其年二月  
迄ニ地方税ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算並ニ地方税徵收ノ豫算ヲ立

テ翌年度ノ定額トナシ其府縣會ノ議決ヲ取り云々トアリ蓋シ其一週  
 年度ノ豫算ナルモノハ該年度内ノ經費ニ充ツヘキモノニシテ前年度  
 ノ追拂ヲナスヘキモノニアラサルヘシ且其第三條豫備費ノ割書豫算  
 外ニ生シタル事件ノ費途トハ其年度内ノ事件ノ費途ニ充ツルモノニ  
 シテ既往年度ノ費用ニ充ツヘキモノアラサルヘシ故ニ該費ノ如キハ更  
 ニ縣會ノ議決ヲ經テ支出スヘキモノナルヲ縣令ニ於テ擅ニ翌年度ノ  
 經費ヲ以テ支出セシハ會計年度ヲ紊リ議會ノ權限ヲ犯シタル處置ナ  
 リト信認ス

縣令ノ答辨

前年度監獄費ノ追拂ヲ翌年度豫備費ヨリ支出シタルハ明治十五年度  
 ニ於テ刑具費拾四圓拾九錢貳厘ノ支出ヲ要シタル處此費用ハ明治十  
 四年七月内務大藏兩卿乙第三十四號達ニ依リ集治監ニ入ルヘキ囚徒

ト縣獄ニ入ルヘキ囚徒ノ延數ニ照シ平均シテ支辨スヘキモノト見込  
 壹圓壹錢四厘ヲ國庫ノ負擔トシテ引去リ殘額拾三圓拾七錢八厘ヲ地  
 方稅ノ負擔トシテ決算ヲ遂ケタルニ明治十六年度ニ至リ該費ハ集治  
 監ニ入ルヘキ囚徒ニ關係セスト其筋ヨリ照會アリシニ依リ篤ト取調  
 へ始テ其誤謬ヲ發見<sup>十五年度決算結了後</sup>セリ付テハ右壹圓壹錢四厘ハ更ニ地  
 方稅ヨリ支拂ヲ要シ即チ十六年度豫算外ニ生シタル事件ノ費途ナル  
 チ以テ府縣會規則第三十七條ニ依リ常置委員ニ諮問シ豫備費ヨリ支  
 出シタルモノナリ然ルヲ縣會ハ地方稅規則第四條ニ曰ク其年七月ヨ  
 リ翌年六月迄チ一週年度トシ府知事縣令ハ其年二月迄ニ地方稅ヲ以  
 テ支辨スヘキ經費ノ豫算并ニ地方稅徵收ノ豫算ヲ立テ翌年度ノ定額  
 トナシ其府縣會ノ議決ヲ取り云々トアリ蓋シ其一週年度ノ豫算ナル  
 モノハ該年度内ノ經費ニ充ツヘキモノニシテ前年度ノ追拂ヲナスヘ

キモニアラサルヘシト言フト雖モ右追拂ノ義ハ十六年度ニ於テ其誤謬ヲ發見シタルモノニ付其發見ノ年度ニ於テ支拂ヲ爲スハ論ヲ埃タス是レ則チ十六年度豫算外ニ生シタル費途ナリ又縣會ハ其第三條ニ豫備費ノ割書豫算外ニ生シタル事件ノ費途トハ其年度内ノ事件ノ費途ニ充ツルモノニシテ既往年度ノ費用ニ充ツヘキニ非サルヘシト言フト雖モ前陳ノ通十六年度中ニ於テ其誤謬ヲ發見シタルモノニ付即チ同年度ノ豫算外ニ生シタル事件ノ費途ナルヲ以テ之ヲ同年度ノ豫備費ヨリ支拂フヘキハ論ヲ埃タサルナリ抑豫算外ニ生シタル事件ノ費途トハ水火盜難等ニ係リタル欠額ヲ補填シ或ハ前年度ノ精算中誤謬ヲ發見シ追拂ヲナス等ノ費用ニシテ即チ明治十五年十二月内務大藏兩卿乙第七十二號達精算報告書式中雜出ノ項ニ示スカ如キモノニ付之ヲ發見シタル年度ノ豫備費ヨリ支出スルハ當然ノ事ナリ又縣

會ハ更ニ縣會ノ議決ヲ經テ支出スヘキモノト言フト雖モ前陳ノ如ク豫備費ヲ以テ支拂フヘキモノニ付府縣會規則第三十七條ニ依リ常置委員ニ諮問シ豫備費ヲ以テ支出セリ如此豫算外ニ生シタル事件ノ費途ハ更ニ縣會ノ決議ヲ要スルモノニアラス故ニ明治十六年度ニ於テ監獄費追拂ヲ爲シタルハ會計年度ヲ紊リ議會ノ權限ヲ犯シタル處置ニアラス

審明

本件縣令ト縣會トノ間ニ於テ權限ヲ爭フノ要點ハ縣令ハ縣會ノ議定ヲ經スシテ十六年度ノ豫備費ヲ以テ十五年度ノ監獄費追拂ヲナスコトヲ得ルヤ否ニ在リ依テ之ヲ審案スルニ縣會ハ一週年度ノ豫算ハ該年度内ノ經費ニ充ツヘキモノニシテ前年度ノ追拂ヲナスヘキモノニアラサルヘシ且豫備費ノ割書豫算外ニ生シタル事件ノ費途トハ其年

度内ノ事件ノ費途ニ充ツルモノニシテ既往年度ノ費用ニ充ツヘキモノニアラサルヘシト言フト雖モ抑本件十五年度監獄費中刑具費金壹圓壹錢四厘ヲ國庫支辨トシタルハ誤謬ニシテ地方稅ヨリ支出スヘキモノナルヲ發見セシハ十六年度内既ニ十五年度地方稅精算決了ノ後ニ在リ故ニ其名ハ追拂ト稱スト雖モ其實ハ十六年度ノ地方稅ヲ以テ十六年度ノ豫算外ニ生シタル事件ノ費途ニ支辨シタルニ外ナラス且ツ豫備費ナルモノハ他ノ費目ト其作用ヲ異ニシ一定不動ノモノニアラサルハ其割書ニ豫算外ニ生シタル事件ノ費途ニ充ツルトアルヲ以テ明了ナリトス故ニ縣令カ定限アル監獄費ヨリ支出セシテ豫算外ニ生シタル事件ノ費途ニ充ツヘキ豫備費ヨリ支出シタルハ法律ノ禁スル所ニアラス

判決

右ノ理由ニ依リ縣令カ縣會ノ議決ヲ經スシテ十五年度精算決了ノ後監獄費誤謬ノ追拂ヲ其發見シタル十六年度ノ豫備費ヨリ支出シタルハ縣會ノ權限ヲ犯シタル處置ニアラサルモノトス  
 明治十八年六月四日

審理委員長

參事院副議長 山尾庸三

審理委員

參事院議官 福羽美靜

審理委員

參事院議官 穴戸 璣

審理委員

參事院議官補 岩崎小二郎



審理委員

參事院議官補 曾禰荒助

審理委員

參事院議官補 落合濟三

審理委員

參事院議官補 岩倉具定

一七九 裁定書

新潟縣令篠崎五郎代理

新潟縣大書記官近藤幸止

新潟縣會議長 山口權三郎

右縣令ト縣會トノ間ニ於テ地方稅決算報告書ノ件ニ付權限ヲ爭ヒ府縣會規則第九條ニ依リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

縣會ノ具狀

客年通常縣會ニ於テ報告ヲ受ケタル明治十五年度地方稅收出精算書ニ對シテハ當時參事院ノ裁定ヲ經タル後縣令カ更ニ報告セシ精算餘贏金壹萬九千三百九拾五圓八拾六錢ハ十七年度へ繰越トナシ同年度地方稅收入豫算ニ編入シタルモノナリ此額ヤ縣令カ自ラ正確ヲ表シタル出納決算上ヨリ生シ即チ縣會ハ之ヲ是認シ一タヒ完結ヲ爲シタル以上ハ地方稅規則第七條ニ據リ內務大藏兩卿ニ報告スヘキモノナルヲ以テ縣令ハ恣ニ動スヘカラサルモノトス然ルニ縣令ハ同年九月六日付本縣甲第九號ヲ以テ管内ニ發シタル布達上前々年度ヨリ繰

越金ハ壹萬九千貳百四拾六圓四錢トアリテ縣會ニ於テ完結シタル精  
 算報告ニ比較シ來レハ金百四拾九圓八拾貳錢ノ差違アルヲ發見セリ  
 依テ本會ハ縣令代理人ニ向テ之カ辨明ヲ要メタルニ縣令ハ內務卿ノ  
 命令ニ因リ變更ヲ爲シタルモノニシテ即チ十七年七月十七日付縣會  
 ニ達シ置タルヲ以テ當然ノ處置ナリト謂フニアリ抑縣會カ精算ノ報  
 告ヲ受クルモノハ府縣會規則第六條ノ存スルアリテ縣令ハ其完結シ  
 タル金額ニ對シ之ヲ變更スルノ權ヲ有セサルナリ况ヤ該達ヲ發シタ  
 ルハ既ニ縣會閉會後ニアリシニ於テチヤ前陳ノ理由ナルヲ以テ縣令  
 ハ法律ノ範圍外ニ出テ越權ノ處置ヲ爲シタルモノト信認ス

縣令ノ答辨

縣會ハ明治十五年度地方稅收出精算書ニ對シテハ當時參事院ノ裁定  
 ナ經タル後更ニ報告シ其額ヤ縣令自ラ正確ヲ表シタルモノニシテ縣

會ハ之ヲ是認シ一タヒ完結ヲ爲シタル以上ハ恣ニ動スヘカラサルモ  
 ノトス然ルニ縣令ハ之ヲ變更シ縣會閉會ノ後ニ達シタルハ法律ノ範  
 圍外ニ出テ越權ノ處置ヲ爲シタリト謂フト雖モ抑參事院ノ裁定ニ依  
 リ其精算ハ一旦校正ヲ爲シタルモ既往仕拂濟ノ金額ヲ縣會ノ議ニ付  
 スヘキ法律ナキヲ以テ其手續ヲ內務卿ニ稟議シタルニ內務卿ハ既ニ  
 精算報告ヲ爲シタルニ付今更引直シテ要セス其旨縣會ニ達シ置クヘ  
 キ趣ヲ指揮セラレタリ依テ之ヲ縣會ニ達シ其處分ヲ結了シタルモノ  
 ナリ而シテ該達ヲ發附シタルハ縣會閉會ノ後ニアリシト雖モ敢テ發  
 附スヘカラサルモノニアラス要スルニ本件ハ法律上準依スヘキ正條  
 ナク特ニ上司ノ命令ヲ奉シ執行シタルモノナレハ縣令ハ法律ノ範圍  
 外ニ出テ越權ノ處置ヲ爲シタルモノニアラスト確信ス

審明

本件縣令ト縣會トノ間ニ於テ權限ヲ爭フト云フノ要點ハ縣令カ報告書ヲ變更シタルハ縣會ニ對シ越權ノ所置ナリト謂フニ在リ依テ之ヲ審案スルニ府縣會規則第六條ハ縣會カ報告書ヲ受ケ其説明ヲ求メ又ハ異見アルトキハ內務大藏兩卿ニ上申スルニ止リテ縣會ニ報告書ノ決議權ヲ與ヘタルコアラサレハ報告書ハ縣令ノ是認ヲ以テ完結スルモノト謂フコトヲ得ス權令カ報告書ヲ變更シタルハ即チ職權上ノ處分ニ屬スルモノニシテ縣會ハ之ヲ以テ自己ノ權ヲ犯サレタリトナシ直ニ縣令ニ對シテ爭フヘキ事ニアラス故ニ本件ハ縣令ト縣會トノ權限ニ關セサルモノトス參事院ハ府縣會規則第九條ニ依リ府知事縣令ト府縣會トノ間ニ於テ法律ノ見解ヲ異ニシ又ハ權限ヲ爭フモノヲ裁定スル所ナリ本件ノ如キハ縣令職權上ノ處分ニ屬スルヲ以テ參事院ノ裁定ヲ請フヘキモノニアラス

判決

右ノ理由ニ依リ本件ハ參事院ニ於テ裁定スヘキ限リニアラス  
 明治十八年六月十日

- 審理委員長 山尾庸三
- 參事院副議長 山口尙芳
- 審理委員 高崎五六
- 參事院議官 長森敬斐
- 審理委員 審理委員

參事院議官補 落合濟三

審理委員

參事院議官補 男谷忠友

審理委員

參事院議官補 木下周一

一八〇 裁定書

右縣令ト縣會トノ間ニ於テ地方稅貸下未納金打切補充追徵ノ件ニ付

愛知縣令 勝間田稔

愛知縣會議長 端山忠左衛門

法律ノ見解ヲ異ニシ府縣會規則第九條ニ依リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

縣會ノ具狀

明治十八年九月臨時縣會ニ向テ縣令ハ臨時縣會第一號議案ヲ發シ地方稅貸下未納金打切補充追徵額區郡部負擔割合ヲ議定セシメントス因テ本會ハ該金額ヲ議定スルニ當リ其起源性質等ヲ尋究スルニ該補充追徵額ノ內金一萬六千四百四十圓六拾錢六厘ハ縣會ノ決議ヲ經ス又常置委員ヘ諮問ノ趣旨ニモ基カス完ク一己ノ處斷ヲ以テ地方ノ事業ニアラサル事項ニ地方稅ヲ支辨シ我カ愛知縣會ノ議權ヲ侵蝕シタル事ヲ發見シタリ何者我カ愛知縣會ハ府縣會規則第一條ニ據テ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算及ヒ其徵收方法ヲ議定スルノ權ヲ有スレハナリ右ノ理由ナルヲ以テ該補充追徵額區郡負擔割合ノ如キハ愛

知縣會ニ於テ議定シ愛知縣民ノ負擔スヘキ者ニアラスト信ス是レ縣令ト本會ト法律ノ見解ヲ異ニスル要點ニシテ今般裁定ヲ請フ以所ナリ

縣令ノ答辨

今回臨時縣會へ發付シタル金六萬千七百七拾六圓五拾二錢六厘貸下未納金打切補充追徵ノ議案ニ對シ縣會ハ該補充追徵額ノ內金一萬六千四百四拾圓六拾錢六厘ハ縣會ノ決議ヲ經ス又常置委員へ諮問ノ趣旨ニモ基カス完ク一已ノ處斷ヲ以テ地方ノ事業ニアラサル事項ニ地方稅ヲ支辨シ我愛知縣會ノ議權ヲ侵蝕シタル事ヲ發見シタリ何者我愛知縣會ハ府縣會規則第一條ニ據テ地方稅ヲ以テ支辨ス可キ經費ノ豫算及ヒ其徵收方法ヲ議定スルノ權ヲ有スレハナリ右ノ理由ナルヲ以テ該補充追徵額區郡負擔割合ノ如キハ愛知縣會ニ於テ議定シ愛知縣民ノ負擔スヘキモノニアラストスルノ主旨ナリ抑地方稅ヲ貸下タルヤ

素ヨリ法律規則ニ據リ執行シタルモノニアラスト專ラ經濟上ノ便益ヲ謀リシモノニシテ全ク行政上ノ作用ニ外ナラサルヲ以テ明治十四年六月常置委員へ諮問セシニ委員ニ於テモ之ヲ贊成シ貸下然ル可シトノ答議ニ及ヒタリ爾來其貸下金ヨリ生スル所ノ潤益ハ之ヲ其年度ノ雜收入ニ編入シ式ノ如ク議會へ報告シ議會モ亦之ヲ是認セリ其既ニ收入スル所ノ潤益ハ金壹萬二千九百六十一圓五拾九錢六厘ナリ然レハ其貸下金ヨリ生シタル所ノ潤益ヲ收受スルモノハ又之ヨリ生スル損失ヲ負擔セサルヲ得サルノ義務ヲ生スルハ理ノ尤モ著明ナルモノトス

依テ本年五月臨時縣會開設ノ際東洋組へ貸下タル則チ金壹萬六千四百四拾圓六拾錢六厘ノ未納ニ對スル處分方法ヲ該會へ諮問セシニ該會ニ於テハ故縣令カ常置委員へ諮問ノ主旨ニ戻リ無抵當ニテ貸下タル

ヨリ生スル所ノ損失ナレハ此ノ損失ハ地方税ノ負擔ス可キモノニア  
 ラス地方税ノ負擔スヘキモノニアアラレハ之ニ答フルノ限ニアラヌ  
 トノ意見ヲ以テ諮問案ヲ返還セリ  
 次テ又臨時會ヲ開キ貸下未納金處分未定中經費ノ不足ヲ補充センカ  
 爲メ一時借入金ヲ要シ之カ利子支出ノ議案ヲ發付セシニ該會ハ既ニ  
 前會ニ於テ諮問案ヲ返還シタルノ主旨ニ依リ該組ニ貸下タル未納不  
 足額ニ對スル借入金ノ利子ヲ刪除セリ於是議會ハ本官ト意見ヲ異ニ  
 諮問案ノ返還ニ對シテハ其損失ノ何レニ歸スルヤヲ内務大藏兩卿ニ  
 上申シ指揮ヲ請ヒシニ上申之趣地方税ノ損失ニ歸スル儀ト可心得旨  
 指揮相成タリ依テ本官ノ職權ヲ以テ夫々處分方執行セリ  
 又借入金ニ對スル決議ハ府縣會規則第五條ニ據リ内務卿へ具狀シテ  
 指揮ヲ請セシニ書面具狀ノ趣地方税取扱費ハ原案ノ通其郡區負擔割

合ハ縣會議決ノ通施行ス可キ旨指揮相成タリ

然ルニ目下十七年度地方税決算ノ場合ニ際シ貸下未納金打切ノ爲メ  
 經費ノ不足ヲ生シ結算ヲ了スル能ハサルヲ以テ則チ經費ノ缺額ヲ補  
 充セントシテ今回臨時縣會及ヒ區郡都會ヲ開キ地方税規則第五條ノ  
 未項ニ據リ議案ヲ發布シタルモノニシテ則チ前顯陳述ノ如ク素ヨリ  
 法律規則ニ據リ貸下タルモノニアラス即チ行政上ノ作用ニ出タルハ  
 固ニ判然タリ然ルトキハ此貸下金ハ縣會ノ決議ヲ經ント欲スルモ二  
 十費目ノ外ナレハ縣會ニ於テ之ヲ議決スルニ由ナカラン是特ニ常置  
 委員ニ諮問シタル所以ナリ故ニ委員之ヲ甘諾シテ諮問ニ答ヘ縣會モ  
 亦其諮問ヲ以テ縣令カ法律規則ニ抵觸シタル諮問ヲ發シタリトセス  
 常置委員ノ答議モ亦當然ノコトナリト各之ヲ是認セリ則チ田中勘七  
 郎外五名へ貸下タル未納欠損金ニ對シ敢テ異議ヲ容レサルヲ以テ之

ヲ証明スルニ足レリ

然ルキハ其議權ヲ侵蝕シタルト云ヒ法律ノ見解ヲ異ニスルトノ要點  
ハ唯其抵當ノ有無ニ在リ之ヲ反言スレハ抵當ヲ取レハ議權ヲ侵蝕シ  
タルニアラス又法律ノ見解ヲモ異ニセスト云フノ精神ニ外ナラスト  
認メタリ是縣會ハ諮問ノ性質ヲ誤解シ又法律ノ適用ヲ誤認シタルヨ  
リ原因セシ謬見ト謂ハサルヲ得ス何トナレハ所謂諮問ノ性質タルヤ  
行政官カ其職權ヲ以テ行フヘキ事件ヲ參考ノ爲問フモノナレハ縣會  
又ハ常置委員ハ其諮問ニ對シ意見ヲ上申スルニ止マルモノニテ其答  
議ヲ取捨スルハ固ヨリ縣令ノ權内ニ在テ府縣會規則第一條ノ議定ト  
ハ其差違豈啻霜壤ノミナランヤ

又法律規則ニ據リ議會ニ於テ議決シ得ヘカサルモノヲ議決セシメサ  
ルヲ以テ規則第一條ニ基キ見解ヲ異ニスルト云ハ則チ牽強附會ノ言

タルテ免レヌ

是本官カ行政事務執行上ヨリ生シタル事件ト認メ内務大藏兩卿ノ指  
揮ヲ得テ其處分ヲ結了シタル所以ニシテ敢テ法律ニ向ヒテ權限ヲ爭  
ヒ見解ヲ論スルノ限ニアラサルナリ

然ルトキハ今回臨時縣會ニ發付シタル貸下未納金打切補充追徴ノ議  
案ハ毫モ法律ニ抵觸セス又議權ヲ侵蝕シタルモノニアラスト確認ス

審明

本件具狀ノ要旨ハ縣會ハ臨時縣會第一號議案地方稅貸下未納金打切  
補充追徴額ノ内金壹万六千四百拾圓六拾錢六厘ハ縣會ノ決議ヲ經ス  
又常置委員ニ諮問ノ旨趣ニモ基カス縣令一己ノ處斷ヲ以テ地方ノ事  
業ニアラサル事項ニ支辨シタルモノナレハ府縣會規則第一條ニ據リ  
之ヲ議定スヘキモノニアラスト謂ヒ縣令ハ地方稅金ヲ貸下タルヤ素

ヨリ法律規則ニ據リ執行シタルモノニアラス當初常置委員ニ諮問シタルカ如ク專ラ經濟上ノ便益ヲ圖リシモノナレハ全ク行政上ノ作用ニ出テタルモノナレハ法律上ニ於テ權限ヲ爭ヒ見解ヲ論スヘキモノニアラスト謂ヘリ依テ之ヲ事實ニ徵スルニ該金額ハ東洋組ニ貸下タルモノニシテ田中勘七郎外五名ニ貸下タル金四萬五千三拾五圓九拾錢ト同性質ノモノタルヤ明ナリ又地方税ニ欠額ヲ生シタルトキハ之ヲ補充スルニ地方税ヲ以テスヘキハ論ヲ俟ス然レハ則チ縣會ノ論旨ハ到底該金額ハ當初常置委員ニ諮問シタル旨趣ニ違ヒ貸下タルモノナルヲ以テ其未納金補充追徵額ヲ議定スヘキモノニアラスト云ニ過キサレハ強テ府縣會規則第一條ヲ引援シ之ヲ論スヘキモノニアラス要スルニ本件ハ縣令ノ地方税金管理上ヨリ生シタル事項ニ對シ縣會ニ於テ異議ヲ唱フルモノニシテ法律ノ見解ヲ異ニシタルモノニアラ

ス又權限ヲ爭フモノニアラス參事院ハ府知事縣令ト府縣會トノ間ニ於テ法律ノ見解ヲ異ニシ又ハ權限ヲ爭フモノヲ裁定スル所ナルヲ以テ本件ノ如キハ本院ノ裁定ヲ請フヘキモノニアラス

判決

右ノ理由ニ依リ本件ハ參事院裁定ノ限ニアラス

明治十八年 十一月九日  
 審理委員長 參事院副議長 山尾庸三  
 審理委員 參事院議官 福羽美靜

同 同 同 同 同  
 參事院議官補股野 琢  
 平田東助  
 男谷忠友  
 水野 遵



正 誤

三百 五丁 五行本件ニハ本件ヲ  
三百 十六丁 末行岩ハ岩  
三百五十八丁 九行確ハ確  
三百六十二丁 三行密接ハ密接  
三百七十二丁 九行縣會ハ縣令  
三百七十六丁 十二行絲ハ縣  
三百七十七丁 四行著ハ著  
三百八十一丁 二行縣令ハ縣會  
四百 四丁 九行權會ハ縣會  
四百 七丁 初行領ハ領  
四百 十五丁 末行氷ハ永

四百 十八丁 二行搜ハ挿  
 四百四十一丁 六行渡ハ渡  
 四百五十六丁 十行土木ノ下補助ノ二字ヲ脱ス  
 四百六十六丁 十二行費目ハノ下我ノ字ヲ脱ス  
 四百七十丁 九行議定ハ議決  
 四百七十二丁 七行間ニノ下於テノ二字ヲ脱ス  
 四百八十二丁 八行闕ハ關  
 五百 十四丁 五行縣令ハ縣會  
 同 丁 六行權令ハ縣令

明治十九年一月十五日出版御届  
 同 年二月出版

定價金五十錢

編纂人

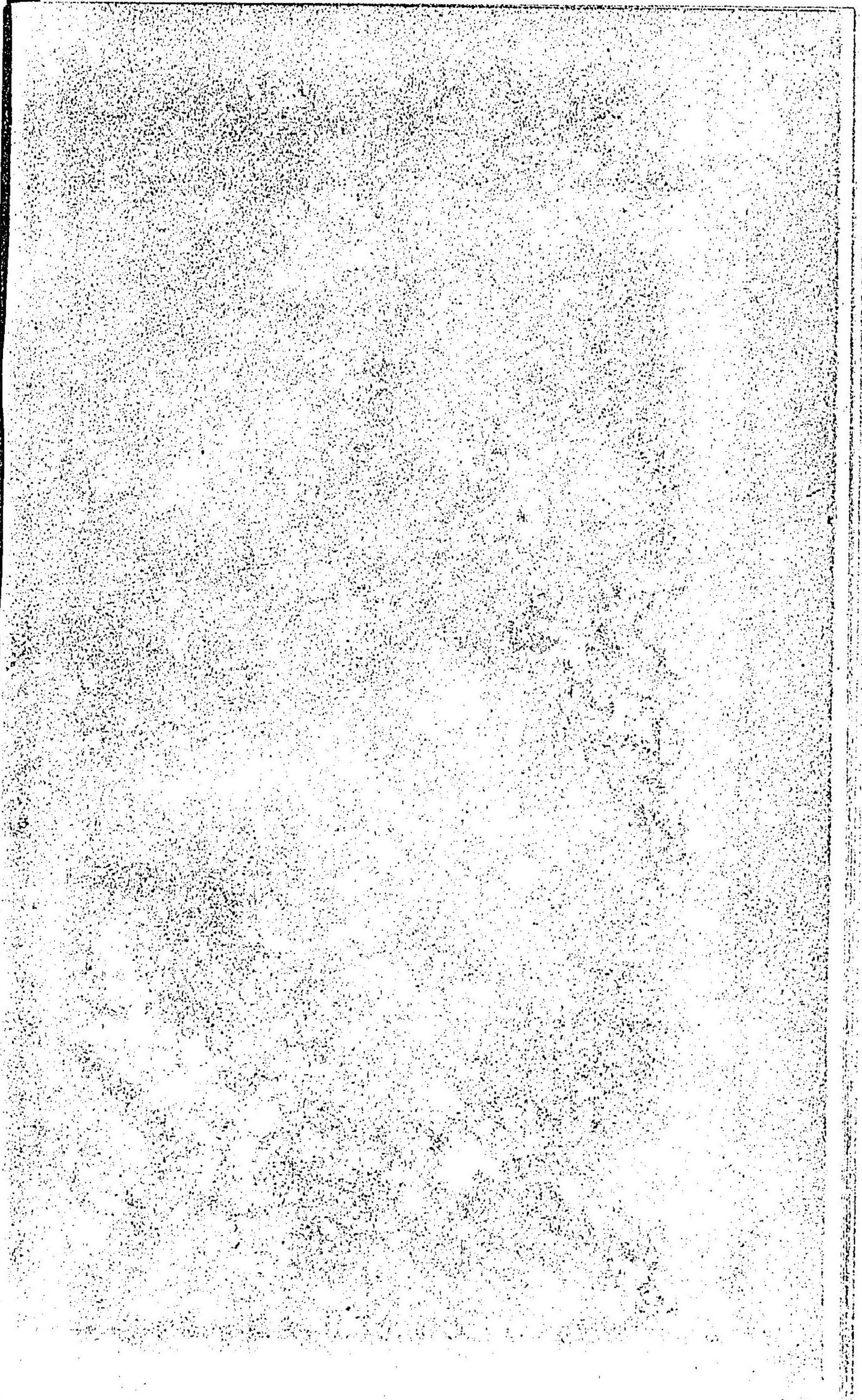
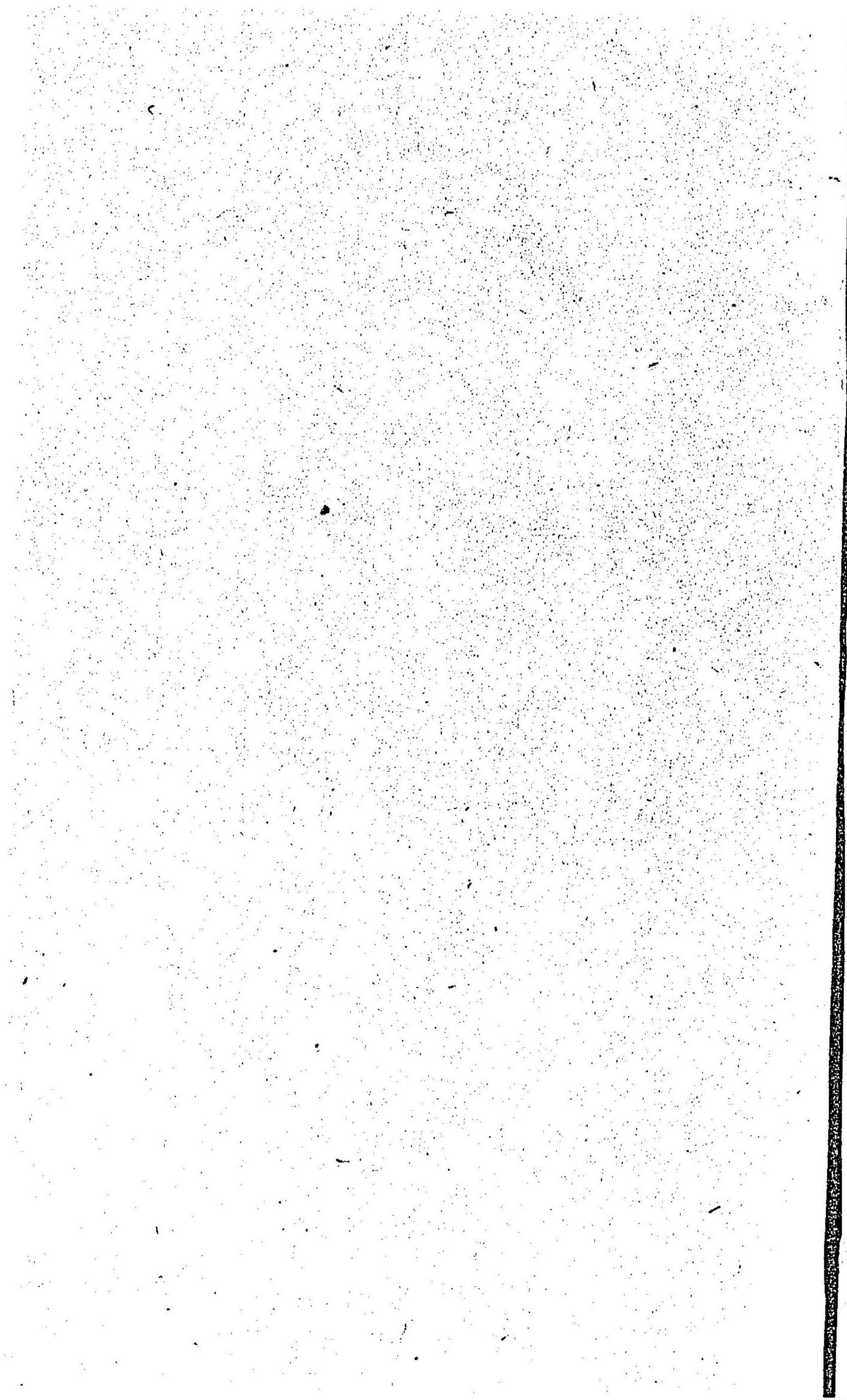
山形縣士族  
 二村虎之助  
 東京本郷區本郷弓町  
 一丁目廿五番地

出版人

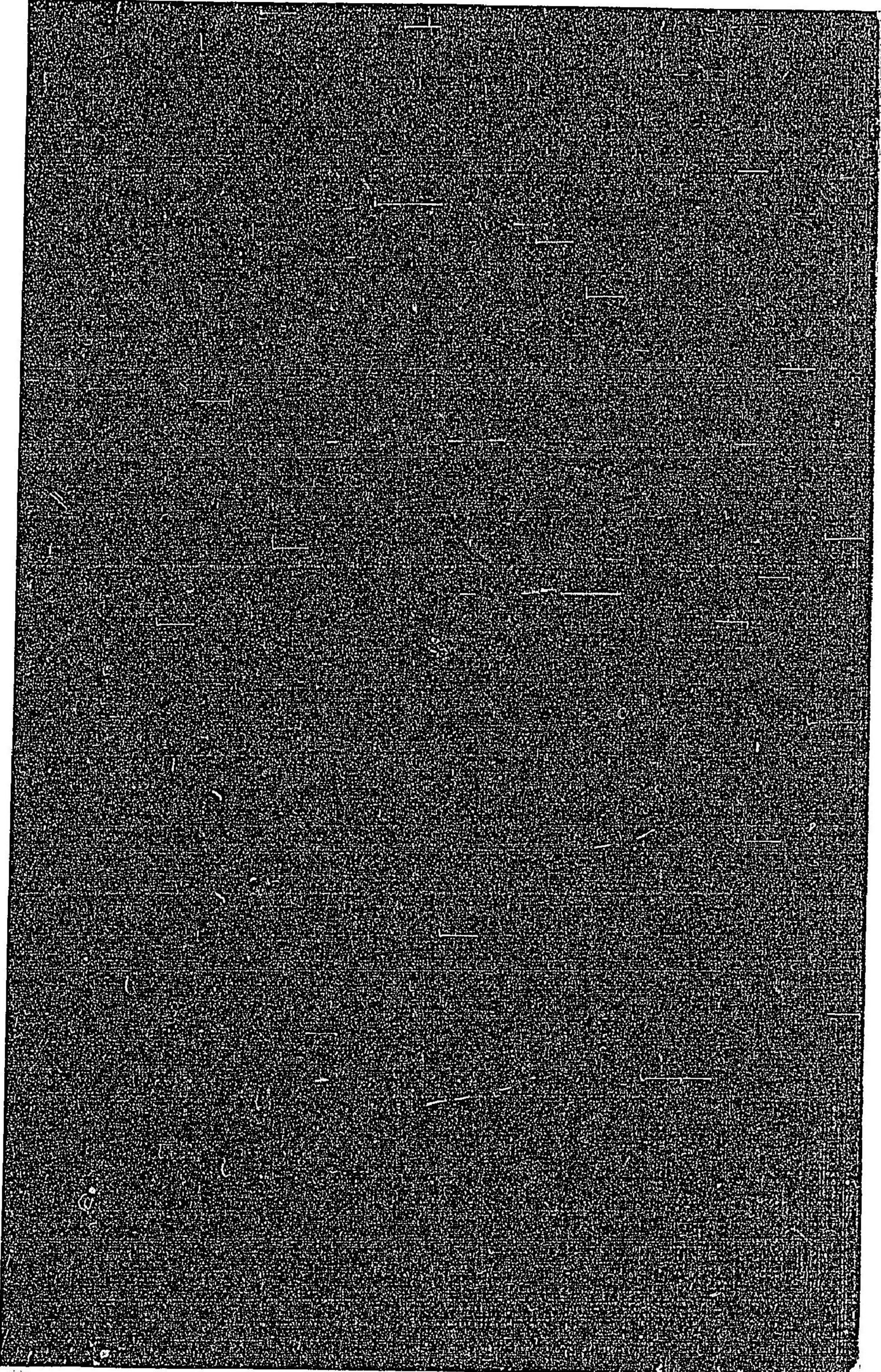
三重縣平民  
 館 治 興  
 東京京橋區銀座  
 三丁目三番地

發兌

東京銀座三丁目三番地  
 知新分社



33  
81



33  
81  
禁電子式複写

036544-000-7

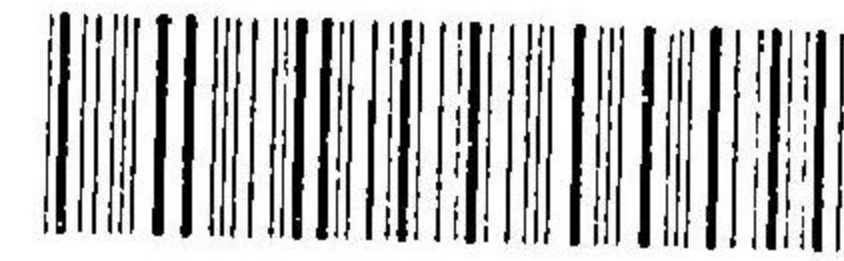
CZ-2391-05

参事院裁定全書

二村 虎之助 / 編

M19

BBR-0310



34.12 3